

科目登録ガイド代替資料：露語露文コース（学部生向け）

露語露文コース主任 八木 君人

* 基本的には、『2021 年度科目登録の手引き』（以下、『手引き』）を熟読し、問題のないように手続きをしてください。『手引き』の電子版は下記の URL から見るができます：
https://www.waseda.jp/flas/hss/assets/uploads/2021/02/24_2021tebiki_web.pdf

* この「科目登録ガイド代替資料：露語露文コース（学部生向け）」はあくまで、露語露文コースによる「コース専門科目」にしぼった個別的・補足的な説明になります。以下の説明は、『手引き』の 38 頁を見ながらご一読ください。

● 学部全体の卒業所定単位数は（最小限で）124 単位ですが、そのうちの 42 単位は『手引き』38 頁に記載されている、露語露文コースの「コース専門科目」の単位を取得する必要があります。「コース専門科目」は、「必修演習」「必修講義」「コース専門外国語」の 3 つのカテゴリーから構成されています。

● 「必修演習」に関しては、露語露文コースの場合は年次ごとに自動登録されます。演習 1、演習 2、演習 3、演習 4 は 2 年次、演習 5、演習 6 は 3 年次、そして、演習 7、演習 8、演習（卒論）は 4 年次の配当になります。これらはコースの「必修演習」であり、これら演習科目すべての単位を取得することが、コースの卒業要件となります。

⇒ なお、「演習（卒論）」は、「卒業論文」の単位とは別になります。「演習（卒論）」は卒論を書くための演習（＝授業での指導）となりますが、各自が実際に卒論を書き上げ、提出し、口頭試問をクリアすることによって、「演習（卒論）」の単位とは別に「卒業論文」という科目の単位（8 単位）を取得できます。蛇足すれば、「卒業論文」についての記述が『手引き』の 38 頁にないのは、それが「コース専門科目」というよりは、学部として卒業要件となる必須科目だからです。

● 「必修講義」として挙げられている 8 科目についても同様で、これら科目すべての単位を取得することがコースの卒業要件となります。これら講義科目については、本来、登録する年度は自由に設定できるものなのですが、現在では、すべて 2 年次に自動登録されることになっています。このように自動登録されるようになったのは、かつて、これら必修講義の「取り忘れ」が卒業時になって発覚し、卒業できない学生がちらほらいたからだといわれています。そのため、2 年次の授業はなかなかハードになりますが、しっかり学んでください。

● 「コース専門外国語」は、年次にかかわらず、卒業時まで（わずか）6 単位の取得が卒業要件となっています。挙げられているすべての科目を履修する必要がある「必修演習」や「必修講義」とは異なり、『手引き』38 頁にある「コース専門外国語」のカテゴリーで挙げられている 12 の科目から選択して、6 単位（つまり 3 科目）を取得すれば、コース

としての卒業要件は満たせることとなります。

- ⇒ ただし、われわれ露語露文コースの教員としては、卒業要件となる最低限の6単位ではなく、いっそ、『手引き』38頁に挙げられている「コース専門外国語」のすべての科目を履修するくらいの勢いで、学生生活の間、しっかりとロシア語の学習に取り組んでもらいたいと思っています。無論、「すべて」というのは実際的にはなかなか難しいかもしれませんが、たとえば、各学期に2コマずつ、「コース専門外国語」科目に含まれている科目を登録するというかたちもあるかなと思います。いずれにせよ、露語露文コースに所属するみなさんには、是非、腰を据えてロシア語を（も）学び、可能な限りロシア語の力を伸ばしていくよう、学生生活を通して心がけてくれることを強く望んでいます。
- ⇒ 2020年度入学者からは、「選択必修外国語」の単位の取得が（露語露文コースでなく）学部の卒業要件として加えられたと思います。「コース専門外国語」に挙げられている科目も、「選択必修外国語」の単位として登録することは可能です。但し、1つの科目で、「コース専門外国語」としての単位と「選択必修外国語」としての単位とを兼ねて取得すること（＝ダブルカウント）はできません。その登録する科目を、「コース専門外国語」として登録するか、「選択必修外国語」として登録するかは、WEB登録時に、ご自身で「科目区分」を選択するかたちで登録するようにしてください（『手引き』の8頁の※2あたりを参照してください）。
- ⇒ 上記に関連して、かなり込み入った話になりますが、通常の科目登録の場合、三次登録の際に一次、二次で登録した科目を「取消」ことが可能なのですが、「コース専門外国語」として当該科目を登録した場合、その三次登録での「取消」はできなくなるようなので、その点にご留意ください。
- ⇒ また、「ロシア語」という観点からいうと、教育学部や政経学部にも、オープン科目となっているロシア語関連の科目があるので、是非、そちらもチェックして、積極的に登録するようにして欲しいと思います。

以上です。

事務手続き関連のことについては、われわれ教員も、あらゆる事柄について完全に把握できているわけではありません。また、事務手続き上のミスは、われわれではフォローしきれないので、具体的に不明な点等があれば事務所に尋ねて、確認しながら、誤りのないように慎重に手続きをしてください。

なお、「コース専門科目」に関連して、事務所に尋ねるよりは、露語露文コースに尋ねたいことがあるようでしたら、下記のメールアドレスまでメールをください：

robun@list.waseda.jp

教員一同、新学期、みなさんにお目にかかれるのを楽しみにしています。

追記：2021年3月31日をもって八木君人はコース主任から退任し、2021年4月1日からは、坂庭淳史先生がコース主任に着任されます。